

志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会 第12回検討会議事録（要旨）

- 1 開催日時 令和5年1月24日（火）午後6時15分から午後7時15分まで
 - 2 開催場所 グリーンカレッジホール 3階 教室1
 - 3 出席者 検討会委員16名【欠席者6名】
教育委員会事務局 学校配置調整担当課長、新しい学校づくり課長
教育委員会事務局副参事（施設整備担当）
新しい学校づくり課学校整備係長、学校配置調整第一係長
新しい学校づくり課職員3名
政策経営部 施設経営課長
施設経営係長
施設経営課職員1名
松田平田設計・教育施設研究所設計共同企業体職員3名
 - 4 傍聴者数 13名
-

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、マスクの着用や検温、手指の消毒、会場の換気を行うなどの取組を実施した。

1 開会

2 検討会会長 挨拶

3 校舎設計案の説明について【資料1】

小中一貫型学校の設計案について、校舎配置図及び各階平面図等を示して概要説明を行い、意見交換を行った。

委員： 登校の際は、出井川緑道の細い道を通って正門へ入るようなイメージか。

事務局： 校舎西側から登校する児童・生徒は、西門から学校の敷地へ入りプロムナードを抜けて正門へ向かうことが想定される。

東側から登校する児童・生徒については、あいキッズ東側の道路を通って正門へ向かうことを主に想定している。

出井川緑道の北側入口には駐輪場があり、南側入口も道幅が狭いことから、あいキッズ東側の道路を可能な限り通っていただき、緑道の細い部分で児童・生徒が滞留してしまうことが無いような計画としていきたいと考えている。

委員： 図面を見ると、緑道の幅が狭く児童・生徒が滞留してしまうイメージがある。道幅を拡張する検討はされているのか。

事務局： 図面にオレンジ色で示した部分が（既存のフェンスを撤去し）緑道と地続きになり、全て人が歩ける空間とする想定である。特に門の付近は滞留しやすいため、拡張するイメージと捉えていただきたい。

委員： 緑道入口の道幅を拡張することは検討していないのか。

事務局： 緑道の拡張については、区の所管部署と協議を行い、可否について今後検討していく。

委員： 校舎配置図右上の屋外倉庫の右側は駐輪場となっており、そこを学校の敷地として拡張することの可否について、過去の検討会においても質問が出ていたと思うが、現在の検討状況を教えてほしい。

事務局： 関係所管と協議を行っているが、駐輪場の利用者の方がいるという状況を鑑み、学校の敷地として活用することは難しい。

委員： 校舎配置図右上に屋外倉庫を配置しているが、校庭をより広くとるために、2階建てにする等の検討は行われているのか。

事務局： 屋外倉庫については、現在の位置ではグラウンドの直走路に近いので、位置の変更を検討している。例えば、現在の校舎配置図において家庭科室の隣に植栽を表記しているが、この植栽部分に倉庫を設置することを選択肢の一つとして考えている。階数については、今後検討していく。

委員： 朝は門のところが混み合ってしまうという意見が出たが、北側に表記されているグラウンドへの車両出入口を登校時間のみ開けることができれば、一定程度分散して登校できると思う。その場合は、現在示されている場所に倉庫があると不便になってしまう。

事務局： 登下校の方法については、通学路と併せて学校と協議し、検討していく。また、倉庫については、グラウンドが使いやすいよう形状や位置を検討していく。

委員： エレベーターはどのように配置されているか。

事務局： エレベーターは階段の隣に配置されている。校舎配置図においては、美術室の下に表記しているものが北側のエレベーターであり、保健室（小）の左隣に表記しているものが南側のエレベーターである。

委員： プールを地域へ開放することは考えていないか。他区ではプールを地域へ開放している例がある。

事務局： プールについては、基本的に小中学校において使用する方向で進めていきたいと考えている。ただし、将来的にプールを地域へ開放することとなった場合も対応できるよう、エレベーターの配置や地域住民の動線については本計画の中で整備していきたいと考えている。

委員： 地域連携ゾーンについて、地域住民が校舎に出入りする際の受付を行う場所は検討されているか。

事務局： 校舎配置図上に地域連携室を表記しており、その近くに受け付け等の設置を想定しているが、エレベーターの位置や動線との兼ね合いを踏まえた上で、詳細を検討していく。

委員： 特別支援学級の小中が同一階で隣接して配置されているが、小中一緒に勉強することになるのか。

事務局： 小学校・中学校それぞれに特別支援学級の学級数の考え方や、教員の配置基準等があるため、基本的には小学校・中学校それぞれの範囲で学校生活を送る。小中の特別支援学級を同一階で隣接して配置することにより、小学校から中学校への繋ぎの部分や、児童・生徒個人の特性への対応等に効果を見込んでいる。

完全に小中合同で学校生活を送ることは想定していない。

委員： 南側の広場にある植栽の配置については既に固まっているのか。小学校では体育の授業で広場を使用することも想定されているため、植栽の位置を変更し、広場をもう少し拡張することを検討する余地があるのか伺いたい。

事務局： 植栽の表記については現在の想定である。緑地面積が条例で決められているため、その範囲内で最大限広場の面積を確保できるよう検討していく。

委員： 広場には鉄棒やジャングルジム等の遊具を置くのか。

事務局： 鉄棒等、体育の授業で使用する遊具については設置する予定である。その他遊具の設置の有無や、配置場所については今後検討していく。

委員： 特別支援学級の教室の上に表記されている白い四角形は、吹き抜けを表しているのか。

事務局： 風通しや採光のため、吹き抜けとする方向で考えているが、今後協議しながら検討を進めていく。

委員： 屋上はどのような設えとなるか。

事務局： 現時点のイメージだが、体育館部分の屋上に太陽光パネルを設置し、その他には設備関係の機器を設置することを考えている。

委員： 校舎の外観イメージを見ると、中学校部分の屋上に活用の余地があるように思える。例えばテニスコートを設置することは検討できないか。部活動等で使えるスペースを充実させるよう検討してほしい。

以前視察した他区の小中一貫型学校では、屋上に防球ネットを設置して部活動で活用していた。

事務局： 現在の外観イメージには表記していないが、屋上にはエアコンの室外機等を設置する必要がある。設備機器の設置を踏まえた上で、屋上の有効活用について検討していく。

委員： プールは、屋根の設置はされない想定か。

事務局： 現時点では屋根を設置しない想定だが、学校との協議及び要望を受けて、屋根の設置や屋内化を検討している状況である。

委員： 視察に行った他区の小中一貫型学校では、プールに屋根がついていて、雨天でもプールに入ることができるという。プールに入ることができる期間は短く、小中一貫型学校では小中で一つのプールを使うため、雨天で入ることができないと、プールの時間が大きく削られてしまうのではないか。

事務局： 学校運営及び教育環境が最善のものとなるよう、プールの屋内化も含めて検討していく。

4 基本設計（案）の説明会について

下記日程において、保護者及び近隣住民向けに基本設計（案）の説明会を開催することについて報告を行った。

開催日	開催時間	開催場所
3月 7日（火）	18時30分～20時00分	志村小学校体育館
3月 9日（木）	18時30分～20時00分	志村第四中学校体育館
3月11日（土）	14時00分～15時30分	グリーンカレッジホール3F教室1

5 その他意見・質問

委員： 校舎の設計案を見ると、地域開放・連携ゾーンが充実している。学校と地域の連携という視点も重要であると思うが、地域開放に関するスペースを確保するために、小中学生が使用するスペースが圧迫されているのではないかと心配である。

児童・生徒がゆったりとした教室で授業を受けられる設えとすることが最も大切だと思う。

事務局： 基本構想・基本計画策定の段階から、部屋の大きさ等、各基準に沿って教室等を設定している。基準を順守した上で、部屋の配置や大きさを調整することが必要となる可能性はある。今後設計を進める中で、限られた敷地を最大限有効活用できるよう検討していきたい。

事務局： 今回の計画では、教室の広さを既存の学校より大きく設定している。既存の学校では8メートル×8メートルで約64㎡が基本的な教室の広さとなっているが、本計画では8メートル×9メートルで約72㎡を教室の基本的な広さとして設計を行っている。

委員： 説明を聞いて安心した。基準等を遵守して、児童・生徒がゆとりある空間で学校生活を送れるよう設計を進めてほしい。

委員： 本計画にあたって、どの程度の経費が見込まれているのか。

事務局： 近年に実施した小中学校改築工事に要した経費を基に回答すると、小学校で約40億円、中学校で約50億円である。足し上げると約90億円となるが、今回の小中一貫型学校の工事では、一部スペースを小中兼用とすることで約83億円の金額規模になると想定している。

ただし、昨今の物価高騰の影響により、金額が変わってくる可能性はある。

委員：先ほど、他の委員から部活動等で使えるスペースを充実させてほしいという意見が出ていたが、志村小の跡地を第二グラウンドとして活用する方向性であると過去に説明があったと思う。

志村小の跡地活用と併せて設計案の説明を行うことで、より理解が得やすくなると思う。

事務局：跡地活用を踏まえて、今後説明を行っていきたいと考えている。

6 事務局からの事務連絡
次回の検討会の開催日時について

7 次回予定

第13回検討会（予定）

日時：令和5年3月27日（月） 18時15分から（予定）

場所：グリーンカレッジホール 3階 教室1